



心の教室だより

10月号

一宮市立中部中学校 心の教室

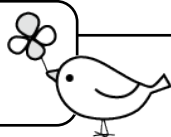
スクールカウンセラー

スクールカウンセラー

心の教室相談員

9月後半になり、朝晩は少し涼しさを感じるようになってきましたね。秋らしく過ごしやすい季節ですが、日中との気温差で体調を崩しやすい時期でもあります。10月は学校行事やテストなど、とても忙しい1か月です。休憩は十分にとって、自分の身体と心をいたわってあげてくださいね。

こころの豆知識



秋と言えば、「芸術の秋」「音楽の秋」「食欲の秋」などいろんなものがありますが、皆さんはどの秋がお好みですか？ 今回はたくさんの秋の中から「読書の秋」にちなんで、私が読んで「なるほど！」と思ったおすすめの1冊をご紹介します。

今回ご紹介するのは、ヨシタケシンスケさんの【りんごかもしれない】という絵本です。学校の図書館に置かれているので、読んだことがある人もいるかもしれないですね。「絵本なんて小さい子が読むものじゃないの？」なんて思う人もいるかもしれませんが、実はこの絵本、読んでみるとなかなか深い1冊なのです。

このお話は、主人公の男の子がテーブルにぽつんと1つだけ置かれたりんごを見て、“これはりんごに見えるけど本当はりんごじゃないのかもしれない”と疑うところから始まります。

目の前の『りんごのように見えるけどりんごじゃないかもしれないもの』に対して疑問を持った彼の思考はどんどん広がり続け、「反対側はみかんかもしれない」「むいてもむいても皮かもしれない」「育てたら大きくなって家になるかもしれない」など、とてもユニークで自由な「かもしれない」を、これでもかというほど生み出していくのです。

一見すると、彼の「かもしれない」は突拍子もない空想のように思えます。ですが、いつもは疑問に思わないことに注目してみたり、視点を変えてみると、今までは気付かなかった新しい何かが見えてくるのかもしれません。

皆さんも、押しても引いても解決できないことに直面した時には、絵本の彼のように想像してみたり、「〇〇かもしれない」と思考を広げてみると、意外な答えが見つかるかもしれませんよ。

